

あいのり

Monthly

2026.8.31

8月のマーケット概要

8月前半は、好調な企業業績とAI・半導体への期待、および弱い雇用統計や消費者物価指数が予想を下回ったことを受け、9月のFOMCでの政策金利引き上げが遠のいたとの見方から、株式市場は前月の下落を打ち消すほど堅調な展開となりました。しかし後半に中東情勢の長期化懸念が再燃し、原油価格の上昇、長期金利の上昇により株式市場の上値は重くなりました。

米金利が上昇する中、ベッセント米財務長官が超長期債の買い戻し額を倍増すると発表し、一旦は金利が低下し、特にゴールドの上昇が目立つ場面がありました。注目されていたケビン・ウォーシュFRB議長によるジャクソンホールでのスピーチは、市場の期待に反しタカ派色が強かったことから、9月の政策金利引き上げ予想が再度浮上し、4.75%を上限で抑えられていた10年債金利も、この水準を僅かに超えて月末引けました。この長期金利の上昇は米国に限らず、日本や欧州各国でも数十年ぶりの高水準がみられ、引き続き米国の長期金利の行方が最も注目される材料となると考えます。

弊社ファンドは、8月に入り、キャッシュ比率を大きく減少させ、主にゴールドや米国株式へ資金を振り向けました。現状マーケットは高値圏での保ち合いとなっておりますが、長期金利の上昇次第では短期的に弱含む可能性が高まっています。一方で企業業績は好調であり、株式は比較的割安な状況との認識から、下がった場合での買いの好機を伺っていきたいと考えております。



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリミキアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset

(2026年9月1日)

パリミキアセットマネジメント
取締役チーフインベストメントオフィサー
宇野 隆一郎

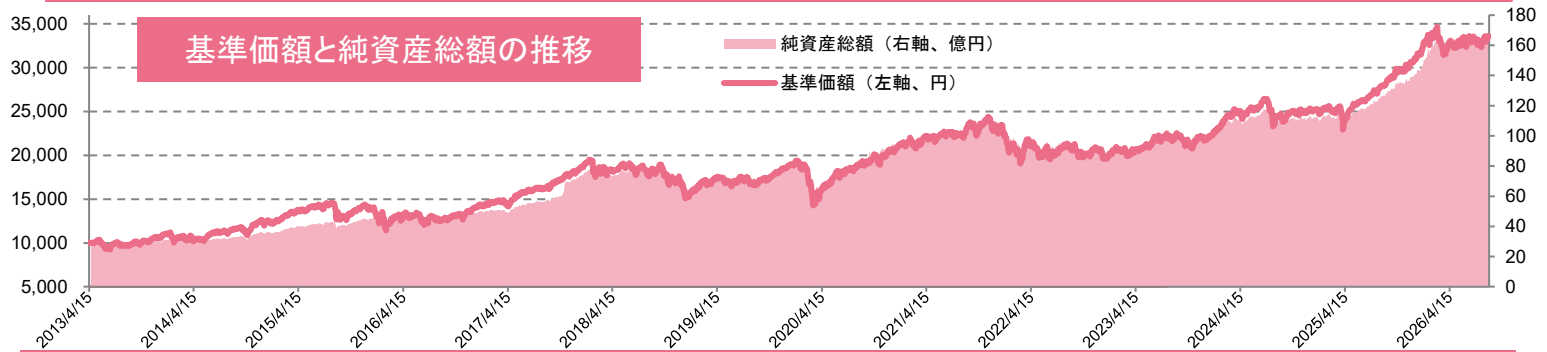


PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

コドモファンド

変幻自在ずーっとおまかせ

基準価額と純資産総額の推移



期間別騰落率(%)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
3.10%	1.16%	-2.16%	6.69%	20.05%	51.13%	48.04%	165.47%	235.85%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(14.74%)	(8.16%)	(10.25%)	(9.47%)

コドモファンド概況

基準価額	33,585円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	16,761百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	9.92%	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
投資信託財産の構成比率	パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド: 99.98% 現金等: 0.02% (合計: 100.00%)		

コドモファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年1.10%(税抜1.00%) マザーファンドの組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担: 年1.75±0.5% 程度(税込)
------------------	---

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド ※2025年9月1日設定

【8月の運用コメント】

基準価額は月間で+3.19%となり、年初来で+7.47%となりました。

(1年リターン: 20.05%、ボラティリティ(1年): 9.92%、シャープレシオ: 1.92) ※コドモファンド

個別ファンドの騰落率については、上昇に寄与したのは、日本株アクティブファンドのポリマー日本株式が騰落率で+5.98%(配当込み)、グローバルなストックピックを行うトリニティ・ストリートが同+7.41%、東欧株式ファンドのトリゴンが同+3.67%、日本株式のモーラントが同+3.37%、金鉱株のコンウェーブ・ゴールドが同+38.47%などでした。下落の影響があったファンドは、ほとんどありませんでした。8月の売買は、ピクテ・ゴールド(為替ヘッジ付)、米国株式ETFなどを購入した一方、モーラントやその他ETFを一部売却しました。キャッシュ比率は約5.23%(前月比▲13.33%)となりました。

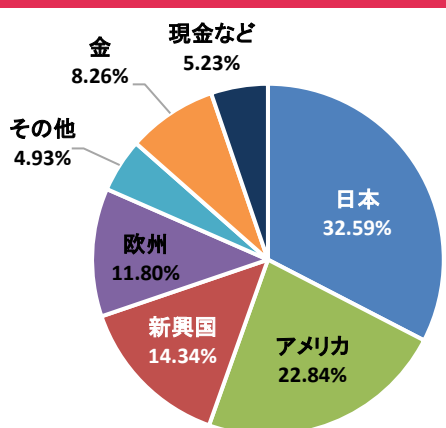
為替が、対ドルで約0.7円(▲0.44%)円高、対ユーロでは約0.38円(+0.21%)円安へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.07%引き下げたこととなります。為替ヘッジを実行し、現状の外貨資産リスク(52%)に対する為替ヘッジ率は42%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは30%です。

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドの概況

純資産総額	17,146百万円	組入ファンド数	全24本
-------	-----------	---------	------

資産構成比率

国別



国別	割合
日本	32.59%
アメリカ	22.84%
新興国	14.34%
欧州	11.80%
その他	4.93%
金	8.26%
現金など	5.23%

組入れファンド TOP10

ポリマー日本株式	11.62%
トリゴン	11.14%
モーラント・ライト	8.94%
Trinity Street	7.31%
ピクテ・ゴールド（為替ヘッジ付き）	7.23%
Invesco QQQ Trust Series 1	6.89%
チカラインディアン	4.57%
コムジェスト世界	4.42%
iシェアーズ コア S&P500 ETF(IVV)	3.90%
ニッポングロース	3.47%

組み入れファンドTOP5
基準価額の 前月比

ポリマー日本株式	5.98%※
トリゴン	3.67%
モーラント・ライト	3.37%
Trinity Street	7.41%
ピクテ・ゴールド （為替ヘッジ付き）	10.95%

※分配金再投資ベースでの数値

【8月の運用コメント】

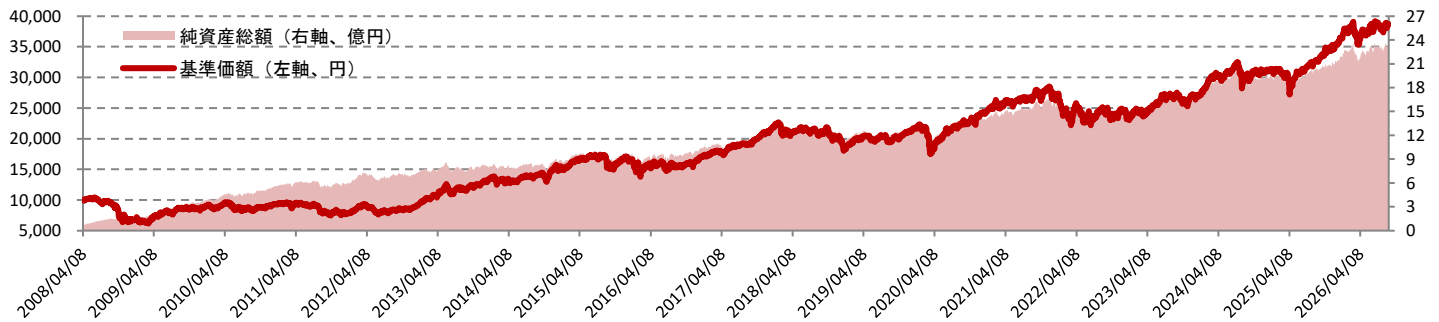
基準価額は月間で+3.06%となり、年初来では+5.96%となりました。

(1年リターン：18.15%、ボラティリティ（1年）：10.98%、シャープレシオ：1.56)

個別ファンドの騰落率について、上昇に寄与したファンドは、日本株アクティブファンドのポリマー日本株式が騰落率で+5.98%（配当込み）、金鉱株のコンウェーブ・ゴールドが同+38.47%、グローバルなストックピックを行うトリニティ・ストリートが同+7.41%、東欧株式ファンドのトリゴンが同+3.67%などでした。下落の影響があったファンドは、ほとんどありませんでした。8月中の売買は、ナスダック100など米国株ETFなどを増やし、一方、日本株ファンドやETFなどを一部売却しました。キャッシュ比率は約5.83%（前月比▲4.70%）となりました。

為替が、対ドルで約0.7円（▲0.44%）円高、対ユーロでは約0.38円（+0.21%）円安へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.08%引き下げたこととなります。為替ヘッジを実行し、現状の外貨資産リスク（56%）に対する為替ヘッジ率は44%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは31%です。

基準価額と純資産総額の推移



浪花おふくろファンド概況

基準価額	38,689円	設定日	2008年4月8日
純資産総額	2,341百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	10.98%	決算日	毎年3月3日(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全19本)

国別	組入れファンド TOP10		組み入れファンドTOP5 基準価額の 前月比	
現金など 5.83% その他 5.45% 欧州 9.99% 日本 34.95% 新興国 15.82% アメリカ 27.96%	ポリマー日本株式	14.88%	ポリマー日本株式	5.98%※
	トリゴン	12.95%	トリゴン	3.67%
	シンプレクス中計	9.53%	シンプレクス中計	2.45%
	Trinity Street	6.27%	Trinity Street	7.41%
	iFree NASDAQ100（為替ヘッジ無し）	6.04%	iFree NASDAQ100 （為替ヘッジ無し）	2.69%
	NF NASDAQ100（為替ヘッジ無し）	5.27%		
	コムジェスト世界	4.91%		
	コンウェーブ・ゴールド	3.66%		
	SBIジェイリパイブ	3.44%		
	コムジェストEM95	3.44%		

※分配金再投資ベースでの数値

期間別騰落率(%)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
3.06%	0.75%	-0.52%	5.96%	18.15%	42.17%	44.06%	149.41%	286.89%
					(複利年率) (12.43%)	(複利年率) (7.57%)	(複利年率) (9.56%)	(複利年率) (7.63%)

浪花おふくろファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年0.99%(税抜0.90%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年1.65±0.5% 程度(税込)

コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パブリックアセットマネジメント／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

パリミキホールディングス非公開化に寄せて

ご報告が遅くなりましたが、本年4月、パリミキアセットマネジメントの親会社であるパリミキホールディングスが非公開化いたしました。しかも、銀行借り入れのみで、外部資本の助けを借りず達成でき、100%の経営権を確保できました。このような企業は非公開化する企業の10~20%程度だそうです。



非公開化の難しさを痛感

事業は始めるより畳む方が難しく、結婚より離婚の方が困難だとよく言われますが、非公開化もまさにその通りでした。高値で株式を取得された投資家の皆様や、多くの社員にご迷惑をおかけし、また多額の借入により財務的にも大きな負担を負うことになりました。

非公開化の手続きも、様々なリスクを回避するため、長時間にわたる検討や準備に加え、多額の費用もかかり、困難を極めました。近年、国内外で老舗企業や創業家が相次いでMBOに踏み切っていますが、その背景にある苦労は当事者にしか分からないものだと、身をもって痛感した次第です。それでも、あえてこの道を選んだのには理由があります。

変容した株式市場

株式公開の本来の魅力は、広く投資家から資金を募り、事業拡大に充てられる点にありました。企業価値の向上が株価上昇として投資家に還元される、まさにウィンウィンの仕組みでした。

しかし近年の市場は様相を変えてきているようです。経営者にとって公開の目的が投資回収のための出口戦略と化し、多くの企業は公開後、株価を上げるため、自社株買いや増配によって市場に資金を放出することに追われています。その原資を捻出するためにコストや人件費が抑えられ、株価上昇の恩恵はストックオプションを持つ一部の経営陣に偏りがちです。また、成熟期に入り成長期待に応えられなくなった企業は、株価低迷とアクティビストの介入というリスクにさらされ、オーガニックな成長の代わりにM&Aへと走らざるを得ません。

近年叫ばれる企業統治改革やROE経営といった掛け声も、突き詰めれば投資家目線の効率性を求めるものであり、そこで行われているのは付加価値の創造というより、目先の数字を追う金融ゲームの感があります。

「魂が喜ぶ」経営を実践するために

今年2月のレポートで、情報と資本が尊ばれた時代から、精神性が重んじられる時代へと、60年ぶりの大きな転換が起きているとお伝えしました。この視点に立てば、企業の価値は時価総額ではなく、どれほど社会的な意味を持ち、顧客や社員、関係する人々の「魂を喜ばせる」存在であるかによって測られるべきでしょう。

そもそも企業は金融商品でも、特定株主の所有物でもありません。かつて、日本で事業を継ぐことは「家督を継ぐ」ことであり、財産よりも責任の継承という意味合いが強かった時代がありました。非公開化を経て強く感じるのは、取引先や地域社会をはじめとする様々なステークホルダーのための公器という、企業本来の姿を取り戻せたという安堵感があります。

公開企業であった30年間は、常に投資家の目を意識せざるを得ず、業績を優先するあまり、そのしわ寄せが社員に及ぶこともありました。顧客の魂が喜ぶ経営を実現するには、まず社員の魂が喜ぶ職場でなければなりません。世界的にもパーパス経営やステークホルダー資本主義が語られる時代ですが、言葉を掲げるだけでなく、実際にそれを実行する覚悟が問われているのだと考えています。

今回の決断がどのような形で花開くかは未知数ですが、長い時間軸の中で夢を持って取り組んでまいります。どうぞご期待ください



(株)パリミキホールディングス
代表取締役会長
多根 幹雄

なぜ、パリミキアセットの運用は他と違うのか。

運用哲学を支える「5つの柱」を、1本ずつ深堀りします

日本で購入できる公募投資信託は、約5,800本※。その中で私たちの運用を「見分けて」いただくための拠り所が、運用哲学を支える5つの柱です。セミナーやサロン等で折々にお伝えしてきましたが、それぞれの背景にある歴史や考え方までは、十分にお話しできていなかったと感じています。

そこで、今月から毎週1本ずつブログを公開し、5つの柱をそれぞれ1つのシリーズとして順番にひも解いていきます。各3回（計15回）の連載予定です。

「なぜパリミキアセットはこの運用なのか」。その背景にある歴史や考え方を知っていただき、私たちの運用哲学への理解を深めていただく機会になればと考えています。

※ 一般社団法人資産運用業協会「数字で見る投資信託」2026年7月末（公募投信 5,851本）に基づく概数。



第1回～第2回公開中 著者：渡邊 格史

[第1回の閲覧はこちらをクリック](#)

[第2回の閲覧はこちらをクリック](#)

◆ 5つの柱と連載スケジュール

※公開日程やタイトル、内容は予定

9月～10月 各シリーズの第1回・第2回を連載します

11月～ 各シリーズの第3回を順次公開します



日本的ファミリーオフィスの考え方

一族の資産を世代を超えて守り、繋ぐ仕組み

欧米で生まれた源流をたどり、日本に合う形を探ります。

9月上旬～

第1回 公開中



あいのり投資という考え方

グループ会社の資金も同じファンドに投じ、お客様と同じ船に乗る

リスクを共有する、という決意の意味を語ります。

9月中旬～

第1回 公開予定



シャープレシオが語るもの

「いくら増えたか」ではなく「どれだけのリスクで増えたか」

守りの成果を数字で示す指標を、やさしく読み解きます。

9月下旬～

第1回 公開予定



マーケット・モメンタム・アロケーション（MMA）という手法

暴落に強く、上昇には追従する資産配分の仕組み

「守りながら増やす」を実現する手法の中身を解きます。

10月初旬～

第1回 公開予定



スイスに兄弟会社を持つ意味

PARIS MIKI international から届く、独自の情報

スイスの情報が、日々の運用にどう活かしているのか。

10月中旬～

第1回 公開予定

「日本的ファミリーオフィスの考え方」シリーズ 第1回と第2回は、すでに公開しています。以降は毎週1本、5つの柱をもとに順にお届けしていきます。今後もあいのりmonthlyでご案内することがありますので、ぜひご注目ください。

パリミキアセット運用報告会 2026秋



パリミキアセットマネジメント
取締役チーフインベストメントオフィサー
宇野隆一郎

「様々なトピックスがある中、私どもがどのように考え対応し運用してきたか、また今後の展望などについても詳しくご説明の上、皆様にご理解を深めていただきたいと思います。」

〈東京〉

10月28日(水) 18:30～19:30

会場

参加費用等について

東京スクエアガーデン 京橋環境ステーション

定員：【対面】30名

参加費：無料

※運用報告会後の交流会にご参加の場合は実費をご負担いただきます。

東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京スクエアガーデン 6階

京橋環境ステーション内 研修室

(東京メトロ銀座線「京橋駅」3番出口直結)

(東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩2分)

(都営浅草線「宝町駅」A4番出口より徒歩2分)

※交流会の会場は未定です。

詳細が決まり次第、HPでご案内いたします

〈大阪〉

10月31日(土) 13:00～14:00

会場

参加費用等について

パリミキ アメリカ村店2F サロン

定員：【対面】25名

参加費：無料

※運用報告会後の交流会にご参加の場合は実費をご負担いただきます。

大阪府大阪市中央区西心斎橋2丁目10番30号

蔵人西心斎橋ビル2階

(大阪メトロ「心斎橋駅」7番出口 徒歩5分)

※交流会の会場は未定です。

詳細が決まり次第、HPでご案内いたします

浪花おふくろ20周年キャンペーンにご参加いただき
ありがとうございました

たくさんの方々にご参加いただき誠にありがとうございました。
パリミキアセットマネジメント メンバー一同、心より御礼申し上げます。



①オリジナルピン



本キャンペーンのためだけにご用意した、
丸メガネをモチーフにした限定デザインです。

②「おふくろう」人形★



あいのり仲間がひとつひとつ丁寧に
手作りした特別な人形です。

キャンペーンご参加の皆様には準備が整い次第オリジナルグッズをお送りいたします。
今しばらくお待ちください。

★【ご希望される方に贈呈】数に限りがあるため、予定個数を超えた場合は抽選となります。

毎月つみたてサービスに関わるスケジュールについて

シルバーウィークに伴い、10月分の金額変更/中止/再開の締切日が通常より早くなっております。ご注意ください。

① 10月分新規・口座変更締切日：9月2日（水）

⑤ 11月分新規・口座変更締切日：10月1日（木）

② 9月分引落日：9月7日（月）

⑥ 10月分引落日：10月5日（月）

③ 9月分約定（購入）日：9月17日（木）

⑦ 10月分約定（購入）日：10月16日（金）

④ 10月分金額変更/中止/再開締切日：9月17日（木）

⑧ 11月分金額変更/中止/再開締切日：10月22日（木）

2026年9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 ①	3	4	5
6	7 ②	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17 ③ ④	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2026年10月

日	月	火	水	木	金	土
				1 ⑤	2	3
4	5 ⑥	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16 ⑦	17
18	19	20	21	22 ⑧	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。
再開につきましては書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。

【お客様マイページのご案内】

電子交付サービスをお申込みいただいているお客様は、すでにご利用いただいておりますが、マイページの機能の一部をご案内させていただきます。

◎ご自身の資産の状況が、簡単に確認できます。

- ① 最新の基準日（前営業日）現在の総資産状況
- ② 最新の基準日（前営業日）現在の課税口座・NISA口座別ファンドの残高

◎電子交付サービスのお申込みについて

電子交付サービスのお申込は、当社にお電話いただくか、ホームページの「各種お手続き」からお手続きください。

各種お手続き ⇒ 「メールアドレス・電子交付申込変更フォーム」はこちら

右記QRコードからも
フォームにアクセスできます



ファンドにかかわるリスク

当社ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。
リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

株式会社パリミキアセットマネジメント
お客様サポートチーム
（受付時間：平日9:00～17:00）
お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
E-mail: support@pmam.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT